



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
2020年度 活動団体応援プログラム 活動報告書
〔外遊びプロジェクトでのひら〕（北海道北見市）

【団体紹介 HP】 <https://bouken-asobiba.org/play/asobiba-325.html>

1年間の活動の概要

6/6 なかのしまこうえんであそぼう：草と木と空しかない公園で、みんなで凧揚げの凧を作ってあげました。走り回ったり、虫を捕まえたり、ロープを引きあって遊んだりしました。

8/2 北見ヶ丘を散策しよう（北見市移動市長室）：地元の有志の方に丘を案内してもらい、木の実を取って食べたり、葉っぱや木の枝で遊びました。ルートだけを書いた紙と画板（的なもの）を持たせて、それぞれで何を見つけたか地図を描いてもらいました。活動の様子を市長にお話しして、活動に理解をいただきました。

11/1 のつけうしこうえんでみんなであそぼう：地元の有志の方にご協力をいただき、スラックラインや坂にシートを引いただけの滑り台で遊び、落ち葉のプールを楽しみました。寒かったので、スウェーデントーチやストーブ、またテントを設置して暖を取りながら遊びました。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

- ・年4回、季節ごとの開催をこのまま継続していきたい
- ・遊び場づくりを通じて、場づくりの仲間、サポーターと出会いたい
- ・地域の方々とつながりを持ち続けたい（多世代交流）
- ・泥、泥水遊び、木登りを思いきり楽しめる場を見つけてみたい
- ・運営者としての学びを深めたい（研修会の開催、参加など）



▲写真を貼付（2020年6月6日開催）

【運営メンバーから一言！】

・市長に活動を知っていただけたこと、またその準備のなかで、メンバー内の絆とお互いの理解が深まった気がしています。活動は地元の方の協力を得たことで、運営側も楽しめた1年でした。

（代表 齊藤裕子）

・コロナ禍で色々な制限もあったけれど、その中でも継続出来たことが自信につながりました。おとなも子どももマスクをはずして大きな声で笑いながら遊べる日を待ちながら、今できることを続けていきたいです。（運営メンバー 木村）

【協会から応援メッセージ！】

子どもの自由な遊び場づくりが、道東の北見まで広がりましたね！

コロナにどう向き合うかをみんなで話し合い、知恵を出し合って運営されていることと思います。

落ち着いたら遊びに行きます！

その前に、オンラインで集まりましょう！

（地域運営委員（北海道） 岡村恵子）



▲写真を貼付（2020年11月1日開催）

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <https://bouken-sobiba.org>